



ノズルは対向する壁面に半数づつ取り付けして下さい。

注記1) 装置から浴槽迄の配管内の循環水は空気を飽和点まで溶解した状態です、途中空気溜まりとなる箇所があるとその場所で徐々に発泡し蓄積して拡大した気泡となって浴槽の微細気泡に影響を与えます。  
配管は必ず横引きと上向きで延長して下さい。また分岐する場合も取り出し口を上向きにして下さい。  
やむを得ない場合は要所に自動空気抜き弁を設置して下さい。  
装置直近のバルブ以外吐出側には弁類を設けないで下さい。配管の延長距離は30m以内を目安にして下さい。

ポンプは非自吸式です浴槽水が自然流下する位置に装置を取りつけて下さい。

注記2) 吐出ノズルへの配管はループ配管を行って下さい。

注記3) ノズルの取り付け高さは浴槽壁面の水深400mm程度にして下さい。

注記4) ろ過やマイクロバブルの吸込口はノズルと距離を置いて下さい。

注記5) ① オーバーフロー回収循環方式の場合は、白濁の元となる超微細気泡が流出し、色が薄くなる可能性がありますのでオーバーフロー量を調整出来る仕組みにして下さい。  
② オーバーフロー方式でない場合は、超微細気泡の上昇と共に浴槽内の汚れが水面に浮き上がる場合がありますので新鮮水を定期的に補給し溢れさせる強制オーバーフロー回路を補給水回路に持たせて下さい。

注記6) 装置から余気・余水が出ます。  
オーバーフロー回収循環方式の場合は、オーバーフロータンクに戻して下さい。  
オーバーフロー方式でない場合は、別置き回収タンクでろ過循環系統に戻して下さい。

注記\*) ろ過の吹出しがきつかったり循環水量が多いところでは一部白濁が薄くなる箇所があります。

注記\*) 吸込み金具は必ず2ヶ以上必要です。